

あとがき

令和7年3月22日に市制施行20周年を迎えることを記念し、本誌の制作をスタートしました。

全体を通して、「人」をクローズアップすること、可能な限り写真を使用することに重点を置き、読んで楽しいものとなるよう構成しました。

今に至る歴史を切れ目なくつなげるため、冒頭で日本の旧石器時代から昭和の大合併までの歴史についても触れました。合併前の1市2町のあゆみについては、年表形式で出来事を列記することで、それぞれのあゆみを相対的に把握できるようにしました。

新備前市のあゆみについては、その年を象徴するような市の出来事を中心に掲載し、参考として日本と世界の動きにも触れることで、社会的な背景との関連性も見て取れるようにしました。

3つの日本遺産を有する本市の魅力を広く伝えるため、「旧閑谷学校」、「備前焼」、「北前船寄港地」については、それぞれ沿革、史跡、人物、ストーリー、現在の取り組みなど、幅広く盛り込みました。

そのほか、産業や教育など分野ごとに市を形づくる主要な要素について改めて情報を収集し、掲載しました。本誌は、難しい歴史文書ではなく、誰でも読みやすく分かりやすくすることで、市民の皆さまや備前市にゆかりのある方々に読んでいただけることを目指して編集しました。一人でも多くの方が、今後も「備前市」を応援したいと思っています。ただければ幸いです。

最後に、この記念誌の制作にあたり、ご理解とご協力をいただきました関係者各位に感謝を申し上げます。

令和7年3月

備前市史編集プロジェクトチーム